



2011年8月1日
鉄道友の会

鉄道友の会 選定

2011年 島秀雄記念優秀著作賞決定

■ 単行本部門（3作品） ※発行日順

- ・小林 正義 「国鉄 EF13 形」（ネコ・パブリッシング）
- ・安保 彰夫 「出石鉄道」（ネコ・パブリッシング）
- ・大田 治彦 「西鉄電車おもいでアルバム」（権歌書房）

■ 定期刊行物部門（2作品）

- ・初澤 毅 「緩衝式車止めの形態と分類」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2010年7～9月号掲載）
- ・堀岡 健司 「鉄道の揭示と行先標の変遷」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2010年10月号掲載）

■ 特別部門（1作品）

- ・「京阪電車百周年に関する著作物」の企画に対して（京阪電気鉄道）

鉄道友の会(会長 須田寛、会員約 3300 名)は、島秀雄記念優秀著作賞選考委員会による選考のもと、2010 年島秀雄記念優秀著作賞として、上記の単行本部門 3 作品、定期刊行物部門 2 作品、特別部門 1 作品の合計 6 作品を選定することに決定いたしました。

なお、贈呈式は、2011 年秋を予定しています。

賞の趣旨、選定対象の解説、選定理由などについては、別紙をご覧ください。

2011年 島秀雄記念優秀著作賞 選定対象の解説・選定理由

■ 単行本部門

小林 正義 「国鉄 EF13 形」ネコ・パブリッシング

本書の著者は、実際に EF13 形電気機関車に乗務経験がある機関士で、かつ鉄道模型にも造詣が深く、ひとつひとつの機関車のディテールの違いを、愛着を持って観察していることがよくわかる著作です。また、本機の誕生や、本機の特徴である凸型から箱型への改造経緯、その活躍ぶりなどを、貴重な資料を踏まえて記述しています。著者のオリジナルの写真や図に加え、ベテランの方々の写真を多数収録しており、電気機関車ファンならずとも感心させられる充実した内容です。EF13 形に身近に接してきた著者ならではの著作として高く評価し、選定しました。

■ 単行本部門

安保 彰夫 「出石鉄道」ネコ・パブリッシング

本書のテーマである出石鉄道は、但馬地方の小私鉄として昭和4年に開業しながらも、戦争の激化の中で不急の路線として営業休止となり、復活することなく消えてしまった鉄道です。本書の著者は、これまでもたびたび中小私鉄をテーマとした著作をまとめられています。公文書や営業報告書などの一次資料を駆使し、さらに現地での聞き取り調査や踏査、空撮による廃線跡の調査など、その集大成とも言うべき労作です。また、車両解説に偏ることなく、歴史や路線、営業などについてバランス良く調査された作品としても高く評価され、選定しました。

■ 単行本部門

大田 治彦 「西鉄電車おもいでアルバム」権歌書房

本書は、地元で生まれ育った著者の西鉄に対する深い思い入れが感じられ、一人で長年にわたって地道に撮り続けた写真集としても、高い水準にあります。特に、花電車の追跡撮影や定点撮影、廃止後の撮影などは地元ファンならではのもので、写真に対する著者のこだわりぶりも感じられ、そのレベルも高く評価されました。こうした優れた著作が、地元のファンと地元の地方出版社のコラボレーションによって出版されたことを高く評価し、受賞作にふさわしい作品として、選定しました。

■ 定期刊行物部門

初澤 毅 「緩衝式車止めの形態と分類」

電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2010年7～9月号掲載

この作品は、駅の構内などに設置される緩衝式車止めという、従来あまり注目されなかった鉄道施設に注目し、構造やメーカー別に分類をした上で実際に各駅等に設置されている現物を「足で稼いで」観察した成果です。その新規性、独自性はユニークで、趣味活動の楽しさを伝えて余りある成果をもたらすとともに、その構造、メーカー、形態などを独自の視点で分類し、資料的価値も高く、鉄道趣味の裾野を拡げ、新たな可能性を開いた著作として高く評価され、賞にふさわしい作品として、選定しました。

■ 定期刊行物部門

堀岡 健司 「鉄道の掲示と行先標の変遷」

電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2010年10月号掲載

この作品は、種々の掲示標のうち、特に行先標に焦点をあてて、その変遷をまとめたものです。また、該当する規定を具体的に例示し、それにより作成された実物の写真とを対比させることによってわかりやすく解説され、資料的な価値も高められています。そのアプローチは、極めて趣味的ですが、幅広い内容をバランスも良く体系的にまとめており、新規性や独自性の点でも優れた著作です。単に制度の変遷を表面的にたどるだけでなく、珙瑯加工業の盛衰や、国語・国字政策の転換、正書法など表記の傾向・流行など、産業や社会、文化の面にもスポットをあて、考察を深めているユニークな作品として、選定しました。

■ 特別部門

「京阪電車百周年に関する著作物」の企画に対して

京阪電気鉄道

明治末期に、私鉄ブームによって多くの私鉄が設立されましたが、その何社かは100周年を迎え、これを記念した社史などが出版されました。京阪電気鉄道でも、100周年を迎えた同社の記念事業の一環として、『京阪百年のあゆみ』（京阪電気鉄道・2011）を発行しましたが、これとは別に一般向けに『京阪電車 車両の100年』（京阪電気鉄道+ネコ・パブリッシング・2010）を企画・出版し、「京阪ロマンスカー史」（エリエイ『レイル No.73・74』・2010）の出版企画に協力されました。これらの出版物を積極的に手がけた企画を高く評価し、特別部門にふさわしい対象として、選定しました。

島秀雄記念優秀著作賞とは

島秀雄記念優秀著作賞は、毎年1回、趣味的見地に基づき鉄道分野に関する優れた著作物または著作物に関わる功績を選定し、鉄道および鉄道趣味の発展に寄与することを目的として、2008年に新設された賞です(今回が4回目となります)。

賞の名称は、鉄道友の会初代会長で東海道新幹線の完成に功績のあった島秀雄氏(1901~1998)が、会の発展に尽くされた功績を永久に記念し、後進にとって励みとなる賞にするため、ご遺族の了解をいただいて、そのお名前を冠することとしたものです。

賞の部門は、以下の通りです。

- 1) 単行本部門…… 書籍の中から優秀な作品を選定します
- 2) 定期刊行物部門… 定期刊行物に掲載された著作物の中から優秀な作品を選定します。
- 3) 特別部門……… 単行本や定期刊行物以外の著作物で選考委員会が特に認めるもの、または著作物の企画、複製、展示、頒布、その他著作物に関わる功績を選定します。

賞の候補は、前年(今年は2010年1月1日から同年12月31日まで)に発行された著作物(日付は、単行本、定期刊行物とも当該著作物に記載された年月日を基準とします)を対象とします。なお、著作者は、鉄道友の会会員に限りません。

賞の選考にあたって、鉄道友の会に島秀雄記念優秀著作賞選考委員会を組織しました。賞のうち、単行本部門と定期刊行物部門は、鉄道友の会会員および選考委員会が指定する出版社が候補となる作品の推薦を行い、選考委員会を選定いたしました。また、特別部門の推薦および選定は、選考委員会が行いました。

なお、今年の島秀雄記念優秀著作賞選考委員会は、鉄道関係の著作物に精通した鉄道友の会会員10名(委員長・小西 純一)で構成しました。また、今年の候補の推薦は、2011年1月より推薦受付を開始し、2011年3月8日に締切り、単行本部門49作品、定期刊行物部門28作品が推薦されました。

添付資料一覧 (併せてご覧ください)

- ・鉄道友の会のご紹介
- ・過去の選定作品・対象一覧

本件につきましてのお問い合わせは、下記宛にお願いいたします。

〒102-0074 東京都千代田区九段南4丁目7-16 第五DMJビル3階 鉄道友の会(本部事務局) 担当:大庭、宮崎 Tel. & Fax. 03-5215-0305 URL http://.www.jrc.gr.jp/
--